

# あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌 2015 年春号 (年 4 回発行)

元気のある病院  
元気のある病院



## 花の記憶

病院長 大西 寛明

浅野川の南岸から色付き始めた3月の桜は、4月の始まりと共に兼六園、金沢城公園を白い花で覆い尽くす勢いで、劇的な春の訪れです。「もののあわれ」とは平安の宮廷文化に端を発する日本人独自の感性ですが、決して貴族からの上意下達ではなく、我が国の美しく、また目にもさやかに移ろいゆく四季によって育まれてきたものでしょう。

私の遠い花の記憶は、母に連れられ、近所の友達とランドセルを背負って小学校に入学した頃にさかのぼります。中、高校の入学式も常に満開の花の下にあり、当時は城内にキャンパスが在った金沢大学での新生活も石川門の桜に迎えられました。「願わくば 花の下にて春死なん その望月の如月の頃」平安末期の歌人、西行法師の秀歌です。桜の花は薄く紅を帯びてはいますが、本質は白。けがれなき白とされ、人の骨の色に似るとも言われます。花の白さは満月の光でいっそう際立ち、いさぎよい散り際から古来より日本人の死生観に大きな影響を与えてきました。私自身もいよいよ「桜の花は白い」と物思う年齢になったようです。

我が国の医療は急速な高齢化社会を迎えるに伴い、一分一秒を生かすための最善の努力から、個人の尊厳を守りながら、その人の死を見守るという「看取り」へと変わりつつあります。つい最近まで癌は告知せずが医療の原則でしたが、実に50歳以上の三人に二人は癌を患う時代です。近年、癌告知が一般化した背景には、完治可能な早期癌のみならず、進行癌でも手術、放射線治療、化学療法の適切な組み合わせによって有意義な生活の期間を得ることのできる医療の進歩があります。

病気を正しく知ることによって覚悟が決まり、心安らぐ方が多いように思います。人は必ず死を迎えるという大前提のもとで病気と上手に付き合っていくためには、医師をはじめとする医療職、介護職の支援はもちろん、ご家族の方々の理解と協力が必要です。人工呼吸や心臓マッサージをされつつ病院のベッドで果てるよりも、願わくば、花の季節に家族に見守られつつ、畳の上で静かな最期を迎えたいものです。



## 病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

## 病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様によりやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

神経内科を訪れる患者さんの頻度の高い訴えは、頭痛、めまい、しびれ、物忘れです。また我々の科で最も多い病気は、脳卒中（脳梗塞、脳出血など）、パーキンソン病、てんかんおよび認知症の四つでしょう。“神経の病気は治らない”の常識が今や破れ、脳卒中でも発病の時間がはっきりしており3時間以内に病院に到達してもらえれば、t-PA血栓溶解療法で治る確率が急激に高くなってきました。救急車での早期搬入が世界中で行われ、治療効果を上げているのが現状です。当院でも数年前からこの治療法を行っていますが、今後も大いに利用してもらいたいものです。

パーキンソン病でも薬物療法で十分効果の出ない晩期になると、薬物以外の療法として脳深部刺激術が適用となる場合がよくあります。



脳神経センター長  
廣瀬 源二郎

## 1 パーキンソン病の薬物療法

一般に50～60歳で手の震え（振戦）か運動減少、姿勢異常（前屈み）で発症し、日常生活動作が制限されます。本症の原因である脳内ドパミン欠乏を補うため、その前駆物質であるL-dopaを初めとする沢山のドパミン補充療法があり、最初の4～5年はいわゆる“ハネムーン”期で殆ど症状が無くなるほどよくなりますが、その時期を過ぎると薬の効き目の減少のため、動き難く、歩き難い、よく転倒するなどの症状がでできます。薬物の種類、量ともに増加しておりその副作用として不随意運動（勝手に手足、体の部分が動く）も出現します。この時期に考慮される治療法が脳深部刺激術です。

## 2 パーキンソン病に対する脳深部刺激術

70歳以下で、数年以上神経内科が加療しても薬物療法だけではうまく加療できない認知症のないパーキンソン病患者さんを対象にします。神経内科医と機能外科担当の脳外科医からなるチームでこの手術を行います。全身麻酔下に特殊な頭部固定枠をつけて脳内位置決めが出来る装置を使い、前もって測定した脳内部位である視床下核（幅1cm厚さ5mm）を目指して針電極を挿入します（図1）。それから麻酔から覚醒してもらい電極端にある4か所で電気刺激を加え、それぞれの部位で、いかにパーキンソン病による振戦や筋硬直が改善するかを神経内科医が判定して位置を最終的に決めます。普通パーキンソン病症状は両側にあるため両側の手術をします。手術時間は6～8時間を要す長い手術ですが、脳を切ったり削ったりしない手術なので、その侵襲は極めて少ないです。通常1週間後に刺激電極からの電極と刺激装置の体内皮下埋め込み術が行われて完了です（図2）。ここからはまた神経内科医が外来診療で刺激の強さの調節を1か月ごとに行い、患者さんの状態が一番改善する状態を保つわけです。

本治療法は薬物療法でどうしても改善がみられないパーキンソン病患者が対象ですが、術前に周到的な検査を行い、初めて適用を決めています。また、この治療法は当地の両大学病院では行っておらず、当院の特定機能に相当する重要な治療法です。気軽に相談に来て下さい。

図1 脳深部刺激術（視床下核）の原理

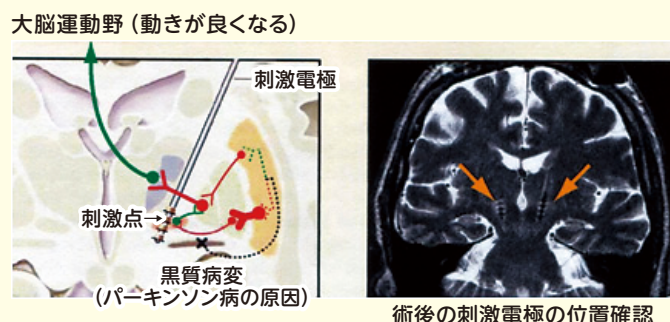
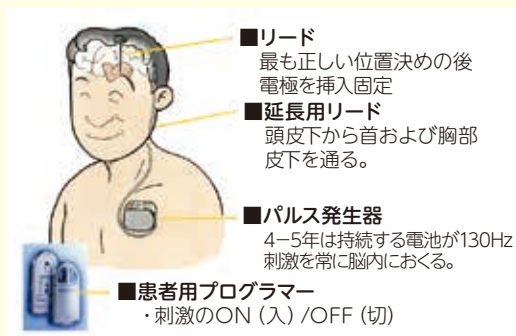


図2 脳深部刺激術の実例





## 連携登録医のご紹介

今回は、金沢市小橋町の『徳田外科胃腸科内科医院』をご紹介します。

当院は浅野川に架かる彦三大橋東詰にあり、二人の医師で診療しています。

「専門医療」は、胃腸科・内科・外科・肛門科を主に診療しています。胃内視鏡・全大腸内視鏡検査を年間約500例行い、消化管疾患の精査・治療をし、「痔」疾患は理解しやすい説明と治療を行っています。内科は、糖尿病・高血圧・高脂血症などが専門です。

「かかりつけ医」として患者さんの疾患を診療だけでなく、どんなに些細な兆候や悩みでも「まず相談してみよう」と思って頂ける医者でありたい!という想いを大切にしています。

浅ノ川総合病院の各診療科には精密検査や入院治療などで度々お世話になっております。常に迅速・的確な診療結果とご教示の返書を頂戴し、その後の当院での治療に大きな助けとなっています。



医院外観

### 連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

## 医療法人 誠医会 徳田外科胃腸科内科医院

院長：徳田 剛爾（外科）

副院長：徳田 京子（内科）

診療科：外科、肛門科、胃腸科

内視鏡検査外来

胃内視鏡、大腸内視鏡

（胃や大腸のポリープを内視鏡切除）

内科、糖尿病内科、高脂血症

循環器、呼吸器内科

入院治療設備：病床数 19

### 診療時間

|             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30～12:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |
| 13:30～19:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |

※土曜午後は 13:30～17:00

休診日：日曜、祝日

住 所：〒920-0844

石川県金沢市小橋 1 番 8 号  
（浅野川 彦三大橋 東詰）

電 話：076-251-7222

駐車場：あり

交通アクセス：

- (1) JR・金沢駅から徒歩 約 20 分
- (2) 北鉄バス「小橋町 BS」すぐ近く
- (3) フラット・バス「小橋町」すぐ近く



## データで見る浅ノ川総合病院～臨床指標の公開～

臨床指標は病院の様々な機能や診療の状況を数値化したものです。病院全体の変化を経年的に把握し、医療の質の向上に役立てるための重要な指標となります。今後も院内で継続的に評価・改善等を行い、地域から信頼される質の高い医療の提供に努めてまいります。

全職員数 754人 ..... うち医師数 57人 うち看護師数 357人(平成27年4月現在)

### 1日平均外来患者数

552.0人

1日あたり外来を受診した患者さんの数です

### 1日平均入院患者数

393.0人

1日あたり入院された患者さんの数です

### 救急車搬入数(年間)

1,864件

当院に搬入された救急車の台数です

### 紹介患者数(年間)

5,762人

他の医療機関から紹介された患者さんの数です

### 逆紹介患者数(年間)

4,312人

他の医療機関に紹介した患者さんの数です

### 手術件数(年間)

4,502件

入院手術と外来手術と合わせた件数です

### 放射線治療数(年間)

6,499件

ガンマナイフ・ノバルリスによる放射線治療数です

### 二次医療圏(石川中央)シェア

神経系疾患 医療圏 1位(16.7%)

眼科系疾患 医療圏 3位(17.7%)

地域において当院を受診した患者さんの占める割合です

(平成25年度実績)

地域の方々に浅ノ川総合病院についてさらに深く知っていただきたいという意味をこめて、このほかの臨床指標もホームページ上で公開しています。ぜひご覧ください。

## 経営企画室の役割

経営企画室 室長 水牧 信和

病院はご存じの通り、人の命を救い、病を治す使命を担っています。

その為には常に健全経営を心がけ、そこで生まれた経営資源を医療設備や人材へ積極的に投資し、良質な医療を患者さんに提供していかなければなりません。

経営企画室の役割は、この経営資源を最大化させるために、病院の経営戦略・意思決定に必要な経営情報の収集・分析・提供を行うこと、つまり経営マネジメントのサポート業務であると言えます。

今後も当院の現状を把握し、改善策を提案することで、医療の質の向上に貢献し、そして更なる充実した医療サービスを患者さんに提供できるよう、努めて参ります。



## トピックス 病院機能評価受審報告

当院では2009年12月に日本医療機能評価機構Ver.6.0を受審し認定を受けました。5年間の認定期間を終えて、今年の2月16日(月)、17日(火)の両日、同じく日本医療機能評価機構の『3rdG.Ver.1.0』を受審し、認定を受けました。

### 病院機能評価受審の目的

『病院機能評価』とは  
～医療を見つめる第三者の目～

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者(サーベイヤー)が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。  
(日本医療機能評価機構ホームページより抜粋)

### 病院機能評価を受審する際の最も重要なこと

- ・病院機能評価は監査ではなく、改善のプログラムである。
- ・認定取得だけを目的にしない。
- ・評価項目の意図を考える。
- ・一部の職員で対応しない。
- ・改善したことを継続する。
- ・定期的に評価し、改善する文化を定着させる。

### 審査内容

① 書面審査：現状調査、自己評価調査

② 訪問審査：書類確認、面接調査、病棟訪問(病棟概要確認・ケアプロセス調査)、外来訪問、救急外来訪問、各部署訪問、全体講評、意見交換など



病院長プレゼン



4領域合同面接



病棟ラウンド



病棟ケアプロセス



検査部 訪問



リハビリテーション訪問



講評および意見交換

### 病院機能向上推進委員会 委員長 光田 幸彦

審査を受けるにあたり、当院では病院機能向上推進委員会を中心に、書類審査を始めとして当日のケアプロセス(症例を用いて診療状況の過程を説明)や部署訪問の対応に職員一丸となって進めることができました。

当日は、緊張しながらもサーベイヤーの方々と会話を交わし、自慢できる診療対応のアピールをしたり、取り組んでいる活動を紹介することもでき、貴重なアドバイスをいただくこともできました。

当院の目指すチーム医療がどこまで評価されたか心配ではありましたが、中間報告としては取り立てて改善要望事項はなく、地域に向けての活動に関しては高く評価されました。

病院機能評価を受審するということは、保健所や厚生局の監査とは違うものの、心構えを含め準備に時間がかかり、エネルギーも必要とします。しかし、第三者の目から客観的に審査を受けることで、当院が今後より良い病院になるためのヒントをたくさん与えてくれました。

当院の理念は『皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供する』です。

すべては患者さんのためにつながると信じ、アドバイスを真摯に受け止めて、より良い医療を提供できる病院になればと考えております。

# 平成27年度 入職式・新入職員研修

## 入職式



平成27年4月1日入職式が行われました。  
「元気のある病院 元気のでる病院」に今年も新たな仲間が加わりました。

## 新入職員研修 1日目



就業規則について  
池端総務課長、中村総務課参事



病院の概要 谷事務長



病院の理念・方針  
大西病院長



倫理研修 東副病院長



医療情報システム  
高戸システム管理室主任

新入職員と大西病院長  
with あさのちゃん



## 新任医師紹介



よろしく  
お願いします！

今年4月から赴任  
された医師を紹介  
します！



内科

わせだ ようへい  
早稲田 洋平

全ての患者さんが安心して診療を受けることができるよう、日々精進していきたいと思っています。よろしくお願いします。

専門分野／消化器内科



内科

まつえ としひで  
松江 俊英

患者さんに誠意をもって接していきたいと思えます。これからもよろしくお願いします。

専門分野／内科一般



内科

たけだ よしみち  
武田 仁裕

高血圧や糖尿病、甲状腺疾患を中心に患者さんに優しい医療を行うように心がけます。気軽に相談してもらえるように頑張ります。よろしくお願いします。

専門分野／内分泌、代謝学、高血圧



腎臓内科

おくやま ひろし  
奥山 宏

患者さんには理解しやすい、分かりやすく説明することをモットーに診療しています。腎疾患（検尿異常でも）のことで気になることがありましたら、いつでもお問い合わせください。

専門分野／腎炎、ネフローゼ、慢性腎不全



## 新入職員 研修 2日目



医療安全  
徳海医療安全部長



地域医療連携部紹介  
金子医療福祉相談室長



地域医療連携部紹介  
増地域医療連携部副室長



職員衛生・勤怠システム  
榎谷総務課主任



個人情報について  
中村総務課参事



防災について  
中村施設管理課長



検査部紹介 駒井検査部長



4月6日(月)には、北陸銀行主催の  
「新入社員公開セミナー」に参加  
し、ビジネスマナーを学びました。



感染対策  
道輪感染対策室長



施設基準・診療報酬  
福田医事課主任



訪問リハビリ・  
訪問看護ステーション紹介  
向井看護師長



栄養部紹介  
西田主任



薬剤部紹介  
笹山薬剤部長



リハビリテーションセンター紹介  
山崎リハビリテーション部長



放射線部紹介  
飯田放射線部長



臨床工学部紹介  
森臨床工学部技士長

今年も期待の新入さんたち。研修で  
学んだ知識を活かし、「元気のある病  
院 元気のでる病院」の一員として  
頑張りましょう！



### 脳神経外科

くまはし かずひこ  
熊橋 一彦

脳の疾患により、突然大きな  
後遺症に苦しまなければならない  
ことがあります。早期発  
見、早期治療はもちろん、十  
分な予防も必要となります。  
患者さんに有意義なQOLを  
提供できるように貢献できれ  
ばと考えています。

専門分野／脳神経外科一般、  
頭部外傷



### 外科

みやなが しょうへい  
宮永 章平

腹部外科を中心に患者さん  
にとって身近な医者で  
いたいと思います。分か  
らないことや不安なこと  
等があれば、気軽に声を  
かけてください。

専門分野／消化器外科



### 整形外科

たにくち ゆうた  
谷口 裕太

ケガや腰痛、関節痛でお困  
りの方は整形外科へご相  
談ください。できる限り、  
患者さんそれぞれのニー  
ズに応えた医療を提供し  
ていきたいと思っています。  
よろしくお願いします。

専門分野／外傷一般



### 産婦人科

にし かよ  
西 佳世

産科センタースタッフと  
協力し、安全・安心かつ  
満足していただけるよう  
なお産になるようサポー  
トしていきたいと思いま  
す。よろしくお願いします。

専門分野／産婦人科一般



### 麻酔科

なかだ かつはる  
中田 克治

手術を受ける患者さんに、安心・  
安全・快適な手術環境を提供す  
ることを第一としています。この  
ため、時に患者さん自身に日常生  
活において不便をおかけするこ  
ともあるかもしれませんが、安全  
のため、協力をお願いします。麻  
酔に関わることはお気軽にお問  
い合わせください。

専門分野／手術時の麻酔

## 行事レポート

### 医療・介護セミナー

平成27年3月13日(金)、石川県地場産業センターにて「2025年に生き残るための経営セミナー」を開催し、浅ノ川病院グループはもとより、地域の介護施設の皆さまをはじめとする約150名の方々の参加をいただきました。

当セミナーは講師に公認会計士の長 英一郎氏をお招きし「医療介護の連携時代に病院介護施設はいかに対応すべきか!」と題して、平成27年度介護報酬改定を踏まえた医療と介護の連携の重要性、2025年に向けて病院及び介護施設が取り組むべき課題、今後の方向性についてご講演いただきました。参加者の方々からは、とても参考になったとの声が多く寄せられ、大変有意義な会となりました。

このセミナーで得られた知識を生かし、今後も地域のみなさまとの連携に努めてまいります。



### 「がん患者サロン・せせらぎ」 開設のお知らせ がん相談支援室

当院では、本年3月から、がんサロン「せせらぎ」を開設いたしました。がんサロンは、がん患者さんやそのご家族が気軽に語り合ったり、知りたいことを学んだりする場です。

第1回は3月19日に開催し、外科の尾島英介医師による講座「がんについて」や、リハビリスタッフのストレッチ体操、看護師のアロマハンドマッサージ、おしゃべり会等を行いました。

参加された方々からは、「楽しかった」「癒された」と好評のお声をいただいております。今後も皆さまが安らげるようなサロンにしていきたいと思っております。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

※当院ホームページに「がん患者サロン・せせらぎ」の紹介ページがあります。

### 編集 後記



新年度もいよいよ始まりましたね。

皆さんは気持ちも新たに何かを始めたり、目標を立てたりしましたか？

‘一年の計は元旦にあり’ともいいますが、日本では4月が年度や学期の始まりなので、節目としてそのような機会にしている方も多いのではないのでしょうか。

また、環境が変わると気持ちもすっきりして、やる気がでてきたりするものです。

試験前についつい部屋の模様替えしてしまうということ、誰にでも経験がありますよね。

衣替えの時期も近いですし『断捨離』も含めて、身の回りをきれいに掃除してみてもいいのではないでしょうか。五月病も乗り切れるかもしれませんよ。

さて、私、あさのちゃんに衣替えはないのですが、実は季節感をプラスしている時があるんです。

お気づきでしたか？次にお会いする時はお見逃しなく!!



問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101(代) メールアドレス: [kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp](mailto:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp)